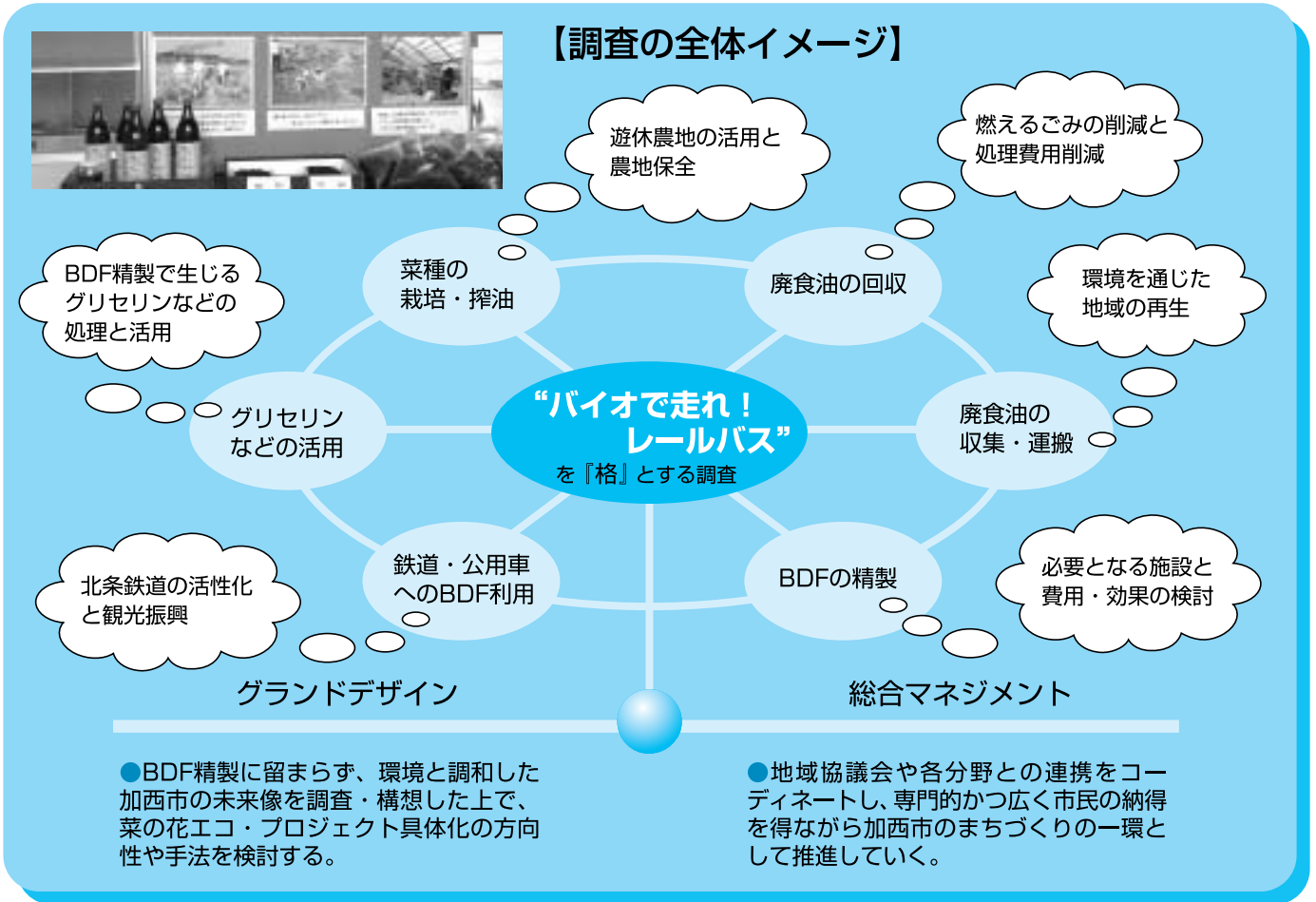


～捨てればゴミ、回収・リサイクルすればは資源～ 廃食油リサイクル事業

加西市では、近畿圏内の自治体に先がけて平成17年11月に「バイオスタウン構想」を発表し事業に取り組んでいます。新たな取り組みとして、不要になった廃食油を回収・精製してバイオディーゼル燃料（BDF）を作り、レールバスや公用車等に利用する計画を推進しています。

この度、事業開始に先立ち、市内の一般家庭、公共施設および事業所から排出される廃食油の発生量（賦存量）や市民のみなさまの意識調査を実施しました。なお、調査費用は経済産業省の調査事業に応募し採択されたもので、調査費447万円全額が国より交付されています。



BDFを利用するメリット

- ・ 菜の花は毎年再生できるので燃焼させても地球全体のCO₂を増加させず環境にやさしい。（カーボンニュートラルと言います）
- ・ 硫黄分が少なく、大気汚染の防止に効果的である。
- ・ 燃えるゴミの減量化につながる。
- ・ 化石燃料の使用の節減ができる。
- ・ 回収の取り組みにより、市民の環境意識が向上する。



上下水道の作業車はBDF100%で運行しています。

廃食油リサイクル事業者を募集！

応募資格者：

- ①北播磨地域内に営業所を有する法人または市民グループ。
- ②事業実施に、必要な人員を雇用することができること。または、ボランティアで要員が確保できること。
- ③事業実施にあたり、各種法令等の資格者を有すること。

応募期間：10/31（水）17:00（必着）

詳細は下記まで

提出先：環境課 ☎④6620 FAX④6269